

平成26年度学校評価票

市立函館高等学校

4 : 十分達成している (適切である) 3 : 概ね達成している (概ね適切である)
 2 : 不十分である (やや適切ではない) 1 : 改善を要する (適切ではない)

自己評価 : 調査教員数66名 回答66名(100%)

学校関係者評価 : 保護者数 76名 回答40名(40.0%)

学校評議員数 5名 回答4名(80%)

分野 領域	評価項目	自己評価 (教員)	改善の方策	学校関係者評価	
				保護者	学校評議員
学校 経営	生徒の実態や保護者、地域社会の願いを踏まえた教育目標になっている。	3.26	・マネジメントサイクルの一層の充実による改善を図る。 ・服務に関する研修を推進する。	3.38	4.00
	教職員の服務規程が適切に保たれている。	3.12		3.40	3.75
学校関係者の意見等					
教育 課程 ・ 学習 指導	単位制の趣旨を生かし、進路実現に結びつく教育課程が編成・実施されている。	2.79	・生徒による授業評価の充実及び結果分析から授業改善を図る。 ・入試問題研究等を通し、組織的な教科指導力の向上を図る。	3.16	3.00
	わかりやすい授業を行い、自ら学ぶ意欲を高めるなど教科指導の工夫に努めている。	3.06		3.14	3.75
	「函館学」を通して、生徒に郷土を愛する気持ちを養っている。	2.97		3.17	3.25
学校関係者の意見等 ・自己評価の、「教育課程」に関する評価が低いことが残念であり、工夫を期待する。					
生徒 指導	家庭・地域社会・関係機関との連携が図られている。	2.95	・日常の遅刻指導の充実を図る。 ・自転車の乗車マナー向上のため警察等関係機関との連携の充実を図る。	3.08	3.50
	基本的な生活習慣や頭髪服装の指導が、全教職員の協力体制の下で行われている。	2.86		3.23	3.50
	交通安全指導が適切に行われている。	3.08		3.08	3.50
学校関係者の意見等 ・登下校時を見る限り服装の乱れもなく、徒歩、自転車の通学マナーも良い。					
進路 指導	進路選択のためのガイダンスが効果的に機能している。	2.89	・3年間を見通したガイダンス計画を作成し、系統的・継続的な指導の充実を図る。	3.03	3.50
	講習や模擬試験の指導など、進路実現に向けた援助活動が積極的に行われている。	3.23		3.52	3.75
	「総合的な学習の時間」を通して、進路実現に向けた支援をしている。	3.03		3.31	3.75
学校関係者の意見等 ・体系的なキャリア教育の取組を期待する。					
健康 ・ 安全 指導	日常的に健康把握を行うなど、生徒の健康面に配慮した適切な指導が行われている。	3.21	・教員研修の実施・充実に努めるとともにスクールカウンセラーの有効活用に努める。	3.29	4.00
	教育相談等を通して生徒の抱える悩み等に適切に対処している。	3.24		3.30	4.00
	健康な心と身体を育むための指導体制及び施設・設備が整っている。	3.03		2.82	3.25
学校関係者の意見等 ・きめ細やかな配慮がある印象を受ける。					
特別 活動	生徒会行事の内容・実施時数および事前指導・事後の評価等が適切になされている。	3.00	・生徒会執行部を中心に、各委員会でも活発な論議をさせ、生徒の主体性を養うことにより、各種行事の活性化を図る。	3.25	3.75
	生徒会行事、部活動等に全教職員の協力が得られ活性化されている。	2.83		3.11	3.50
	生徒会行事、部活動での安全への配慮及び保護者との協力体制が適切にとられている。	3.02		3.14	3.75
学校関係者の意見等 ・部活動における、顧問と保護者との十分な連携を望む。					
地域 との 連携	教育方針や教育活動などについて、保護者や地域に各種通信やホームページ等を通して積極的に情報の提供や発信を行い、開かれた学校づくりに努めている。	3.14	・PTA各種行事、年次保護者集会、三者懇談会等を通し、広く意見を聴取し学校運営に役立てる。	3.38	3.75
	保護者や地域からの意見を積極的に聴取し、学校改善に役立てている。	2.94		2.98	3.50
	PTA活動等を通して、学校と家庭との連携が図られている。	3.11		3.31	3.75
学校関係者の意見等 ・自己評価がやや低いのは、教員の意識の高さと評価できる。					